

留学生2人の前途祝福 新報芸能受賞者も紹介

北加沖縄県人会新年会に集う

アメリカ

北加沖縄県人会の新年会がこのほど、フェアフアイランドのコミュニティーセンターで開かれた。ハワイから出席した城間トーマス元同会会長ほか懐かしい顔触れが集まっ



舞台上で紹介される北加沖縄県人会の新役員

海外事情

とクーン・トシ子さんが司会を城間宏三元会長務めた。昨年中に沖縄芸

能で受賞した若手会員が紹介された。いずれも琉球新報主催の芸能コンクールでの受賞者。新垣由香さん(鳳乃会USA)は舞踊部門で、また、上原きくえさん(絃友会)は民謡部門でそれぞれ優秀賞を受けた。又吉サリナさん(絃友会)は民謡部門で新人賞を受け

た。毎年奨学生として沖縄に招かれる留学生が紹介された。北米から選出する枠は二人あるが、今年二人とも北加沖縄県人会から選ばれたという喜ばしい成果を収めた。二人は上原きくえさんとマリア・ヘルナンデスさん。上原さんは、優秀賞(酒巻裕子米国通信員)

WUB 人脈生かし事業拡大

北米支部が 世界大会へ企画発表

WUB(ワールドワイフ会員で、ロサンゼルス

ド・ウチナンチュ・ピシネス・アソシエーション)北米支部(多和田真友会長)はこのほど、今年初めての総会を開き、本年度の活動方針を協議。十月にボリビアで開かれるWUBインターナショナル第六回世界大会に向けたツアー企画を発表した。

またWUB北米支部の活動内容について、参加した約十五人は活発に意見を交わした。多和田会長は「具出身者同志の信頼関係と相互援助に基づいたネットワークを通じたビジネス投資の拡大を目指す」とあいさつ。企業視察やファンディングと並行して、歯科医師や保険業など、会員の専門分野を反映させた地元での講演会企画も提案された。会員の中心は「会の特色を強く打ち出していくためにも、具体的なビジネス機会を提供する」として、成果を問うべき」とする声も上がった。

世界大会に先駆け北米支部は、南米の歴史と経済動向を包括的に学ぶため、十月八日からブラジルでのスタディ・ツアーを企画するなど、大会参加への意欲を示した。この日は、小東京一帯の清掃を終えたばかりの「バックステージ21」のメンバーも招待され、日ごろの活動の労をねぎらうとともに、参加者が持ち寄った沖縄料理が振る舞われた。「バックステージ21」は、我部さんを中心に学生ボランティアで組織された団体で、小東京活性化を目標に掲げ、フリーマーケットやさまざまなイベントを開催している。(新垣喜久アメリカ通信員)